



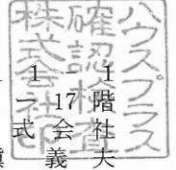
受付日：令和4年4月14日
受付番号：HP22-KT025

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

東京都港区海岸1-1
ニューピア竹芝ノースタワー
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂横 義夫

令和4年8月25日



1. 接合金物名称	FHD-50
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
	株式会社 ダイドーハント 〒542-0063 大阪府吹田市江坂町1-12-38江坂ソリトンビル1F
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「FHD-50」1個 材質：SPHC(JIS G 3131^{*1}) 寸法：105mm×105mm×235mm(外形) 板厚t=6mm ドリフトピン用孔 5-φ13mm ボルト用孔 1-φ36mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*2})*³</p> <p>2) 接合具</p> <p>「FPN-105」5本 材質：SWRM8相当材として以下に掲げる鋼線^{*4} SWRM8(JIS G 3505^{*5}) SWRM10(JIS G 3505^{*5}) Q195 (GB/T701-2008^{*6}) 寸法：φ12mm L=103mm 先端7mm絞りφ9mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*2})</p> <p>「丸座金t12.0×φ86」1個 材質：SS400(JIS G 3101^{*7}) 寸法：φ86mm 長孔加工孔 1-φ16mm 板厚t=12mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*2})</p> <p>「丸座金t6.0×φ50」1個 材質：SPHC(JIS G 3131) 寸法：φ50mm 加工孔 1-φ16mm 板厚t=6mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*2})</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：10.5~14.0% 全乾密度：0.34~0.36g/cm³</p> <p>*1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *2 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *3 試験では生地を使用した *4 試験ではQ195を使用した *5 JIS G 3505 軟鋼線材 *6 中国国家标准規格(GB規格) *7 JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材</p>
6. 試験条件	試験体は接合部を実状に合わせた仕様とした。 試験体の固定は、中心軸から10mm偏心した位置とし、M16六角ボルト、ナット2個(ダブルナット)及び「丸座金t12.0×φ86」、「丸座金t6.0×φ50」を用いて、基礎を想定した鉄骨架台に緊結した(締付トルク管理値：20N・m)。 また、柱材横倒れ防止のためのサポート治具を設けた。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 47.2 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	株式会社栗山百造：新潟県三条市井戸場84-9
9. 試験実施日	令和4年4月20日
10. 試験担当者 及び報告書作成者	試験担当者：株式会社栗山百造 製造部 高浪 雄一 報告書作成者：ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 葛生 夏実

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。